



## 2019年6月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2019年5月13日

上場会社名 株式会社 ハンズマン

上場取引所 東

コード番号 7636 URL <http://www.handsman.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大藺 誠司

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営企画室長兼経理部長 (氏名) 田上 秀樹

TEL 0986-38-0847

四半期報告書提出予定日 2019年5月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年6月期第3四半期の業績(2018年7月1日～2019年3月31日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年6月期第3四半期	22,737	0.5	1,431	△0.6	1,599	△0.1	1,083	△6.5
2018年6月期第3四半期	22,632	△3.9	1,440	△9.0	1,600	△8.5	1,159	△8.0

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年6月期第3四半期	75.77	—
2018年6月期第3四半期	80.11	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年6月期第3四半期	18,011	12,388	68.8
2018年6月期	17,886	11,742	65.6

(参考) 自己資本 2019年6月期第3四半期 12,388百万円 2018年6月期 11,742百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年6月期	—	0.00	—	25.00	25.00
2019年6月期	—	0.00	—	—	—
2019年6月期(予想)	—	—	—	25.00	25.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2019年6月期の業績予想(2018年7月1日～2019年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	31,470	1.3	2,133	1.0	2,350	1.0	1,573	△6.9	110.24

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年6月期3Q	14,509,800 株	2018年6月期	14,509,800 株
② 期末自己株式数	2019年6月期3Q	251,853 株	2018年6月期	190,453 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2019年6月期3Q	14,305,107 株	2018年6月期3Q	14,475,977 株

(注)ESOP信託口が保有する当社株式を「1株当たり四半期純利益」の算定上、期中平均株式数の計算において控除する株式に含めております(前第3四半期累計期間21,070株、当第3四半期累計期間191,940株)。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(日付の表示方法の変更)

第1四半期会計期間より、日付の表示方法を和暦から西暦に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(追加情報) .....	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間における小売業を取り巻く環境は、雇用・所得環境の改善が続く一方で、節約志向等を背景に個人消費は力強さを欠き、eコマース市場の拡大等、業態を超えた販売競争も激しさを増すなど厳しい状況で推移いたしました。

このような環境の中、当社は前事業年度に引き続きお客様の要望される商品の新規導入・拡充を行うための売場改装を推進するとともに、売場スタッフのコンサルティング販売能力の向上を目的とした商品取扱実技研修会を積極的に開催するなど、より多くのお客様に喜ばれ、お役に立てる施策を実践してまいりました。

その結果、全店ベースの来店客数は前年同期比100.0%、客単価が前年同期比100.4%となり、売上高は前年同期比100.5%の227億37百万円となりました。熊本地区につきましては、前事業年度に引き続き熊本地震を背景とした需要増加の反動により、建材・手工具・エクステリア等、住まいの補修や修繕に関連する商品の売上が低下し、2店舗トータルの売上高は前年同期比96.2%となりました。熊本地区を除く9店舗につきましては、天候不順が集客に影響した月はありましたが、トータルの売上高は前年同期比102.0%となりました。

利益につきましては、売上総利益率が前年同期比0.2ポイント低下の31.1%となり、売上総利益は前年同期比99.8%の70億82百万円となりました。また、販売費及び一般管理費は前年同期比99.9%の56億50百万円となり、その結果、営業利益は前年同期比99.4%の14億31百万円、経常利益は前年同期比99.9%の15億99百万円、四半期純利益は前年同期比93.5%の10億83百万円となりました。

(注) 当社は営業開始後13ヵ月経過した店舗を既存店、13ヵ月未満の店舗を新店と定義しており、当第3四半期累計期間においては全11店舗が既存店となることから、来店客数・客単価・売上高の各数値は全店(既存店)の数値となります。

部門別の業績は次のとおりであります。

(単位：百万円)

部門別	前第3四半期累計期間 (自2017年7月1日 至2018年3月31日)		当第3四半期累計期間 (自2018年7月1日 至2019年3月31日)		増減額	前年 同期比
	金額	構成比	金額	構成比		
<DIY用品> ホビー・木製品、建材、手工具、電動工具、金物、塗料、接着剤、園芸資材、薬剤肥料・用土、植物、エクステリア用品、石材	12,227	54.0%	12,420	54.6%	192	101.6%
<家庭用品> 家庭用品、日用品、インテリア用品、電気資材用品、収納用品、住宅設備用品、季節用品	7,362	32.5%	7,243	31.9%	△118	98.4%
<カー・レジャー用品> カー用品、アウトドア用品、ペット用品、文具	3,042	13.5%	3,073	13.5%	30	101.0%
合計	22,632	100.0%	22,737	100.0%	104	100.5%

なお、上記金額には消費税等は含まれておりません。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期会計期間末における資産合計は、前事業年度末に比べ1億25百万円増加の180億11百万円となりました。これは主に商品が1億18百万円、売掛金が67百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期会計期間末における負債合計は、前事業年度末に比べ5億21百万円減少の56億22百万円となりました。これは主に買掛金が2億37百万円、未払法人税等が2億33百万円増加した一方、長短借入金が9億48百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産合計は、前事業年度末に比べ6億46百万円増加の123億88百万円となりました。これは主に剰余金の配当が3億62百万円あった一方、四半期純利益を10億83百万円計上したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年6月期の業績予想につきましては、2018年8月8日に公表いたしました業績予想に変更ありません

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2018年6月30日)	当第3四半期会計期間 (2019年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,533	1,538
売掛金	318	385
商品	5,729	5,848
貯蔵品	31	32
その他	215	220
流動資産合計	7,829	8,024
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	5,420	5,230
土地	1,850	1,850
その他(純額)	807	975
有形固定資産合計	8,079	8,057
無形固定資産		
投資その他の資産	218	217
投資その他の資産		
投資不動産(純額)	792	787
その他	979	936
貸倒引当金	△12	△12
投資その他の資産合計	1,759	1,712
固定資産合計	10,057	9,986
資産合計	17,886	18,011
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,778	2,015
短期借入金	1,591	1,121
未払法人税等	37	270
その他	923	729
流動負債合計	4,329	4,136
固定負債		
長期借入金	1,425	945
資産除去債務	297	301
その他	91	237
固定負債合計	1,814	1,485
負債合計	6,143	5,622
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,057	1,057
資本剰余金	1,086	1,086
利益剰余金	9,846	10,568
自己株式	△253	△320
株主資本合計	11,736	12,392
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	5	△3
評価・換算差額等合計	5	△3
純資産合計	11,742	12,388
負債純資産合計	17,886	18,011

## (2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期累計期間 (自2017年7月1日 至2018年3月31日)	当第3四半期累計期間 (自2018年7月1日 至2019年3月31日)
売上高	22,632	22,737
売上原価	15,535	15,654
売上総利益	7,097	7,082
販売費及び一般管理費	5,657	5,650
営業利益	1,440	1,431
営業外収益		
受取手数料	118	113
投資不動産賃貸料	80	79
その他	11	12
営業外収益合計	210	205
営業外費用		
支払利息	16	9
投資不動産賃貸費用	32	26
その他	0	1
営業外費用合計	49	37
経常利益	1,600	1,599
特別損失		
固定資産除却損	—	15
特別損失合計	—	15
税引前四半期純利益	1,600	1,584
法人税、住民税及び事業税	206	472
法人税等調整額	234	27
法人税等合計	441	500
四半期純利益	1,159	1,083

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を第1四半期会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。